

再考しよう地震保険

皆さん、

地震保険には

お入りですか？



地震保険とは？

法律に基づいて、政府と民間の損害保険会社が共同で運営している制度です。保険料は、災害のための準備金として積み立てられ、被災者の生活の安定に寄与することを目的としています。愛知県は地震保険の加入率が全国トップです。(平成15年度 26.3%)

相次ぐ全国各地の地震で、地震保険への関心は急速に高まっていますが、「地震保険は難しくて高い？」と迷っている方も多いのでは。そこで、今回は地震保険の基本的な内容と日頃皆様から質問の多い項目をまとめてみましたので、未加入の方はご検討の際の参考にして下さい。



地震保険だけで加入できるの？

火災保険に加入していなければ、地震保険には加入できません。地震による、津波・火災・延焼・拡大した損害は、火災保険では補償されません。



地震保険の補償内容は？

＜対象＞居住用の建物及び家財です。どれくらい入れるの？

主契約火災保険金額の30～50%の範囲です。

建物は、最高5000万円、

家財は、1000万円までです。

●保険期間は？

1～5年(1年未満も可)です。



実際に壊れた時、どれくらい補償されるの？

●保険金額1,000万円あたりの年間保険料(愛知県)

	保険料	耐震等級1級※	耐震等級2級	耐震等級3級
木造	23,500円	21,200円	18,800円	16,500円
非木造※	13,500円	12,200円	10,800円	9,500円

※非木造:鉄筋コンクリート、鉄骨造
※耐震等級:住宅性能表示評価適用住宅

●保険会社 全社一律、地域ごとに保険料が違います。

例 ツーバイフォー住宅

建物火災保険	2,000万円
地震保険	1,000万円 (平成5年建築年次割引適用)
地震保険料	21,200円/年間 (58円/1日あたり)

	建物の場合	支払い保険金額
全損	損壊、焼失が床面積の70%以上	保険金額の100%
半損	損壊、焼失が床面積の20～70%未満	保険金額の50%
一部損	主要構造部の損害額が時価3～20%未満	保険金額の5%



保険料は？



地震保険は、甚大な被害だと、保険金が支払われない？

支払金額が5兆円を超えた場合は、削減される可能性があります。50～95%を国が負担することになっています。東海地震の被害、建物被害の地震保険支払い想定額は、最悪で2兆円と算定されていることから、現状では問題はないと予想されます。

(参考: 阪神大震災保険金支払約800億円)



いつでも入れますか？

中途の加入も可能ですが、大規模地震対策措置法に基づく警戒宣言が発令された時は、新規加入・契約金額の増額ができません。

この数字は今後30年間に、震度6以上の地震が起こる確率予想です。

[26%]

まずは、防災グッズや住居内の地震時への事前対策が、最優先です。それに加え、経済的備えとして、地震保険の加入を検討してみてください。

住宅購入後、自宅が倒壊した場合、住宅ローンだけが残ります。倒壊は免れても現状での売却は難しく多額の修繕費を要します。これらを貯蓄や他の資産で補えない場合、地震保険が早期復旧に向けての支えとなります。毎日ほんの少しの節約で、損害を軽減できる地震保険!! 安心な“すまいるライフ”を送るために、もう一度、再考しましょう。



トヨタすまいるライフ
ファイナンシャルアドバイザー
(NPO法人日本FP協会認定) 石井 亘

Club Pölet's
ゴールド会員なら
ファイナンシャルプランナーの
無料相談が
受けられます!
クラブハウス事務局
☎0120-69-7880
または、住宅相談課
0565-24-1262